

広報

あしや

952号

令和2(2020)年

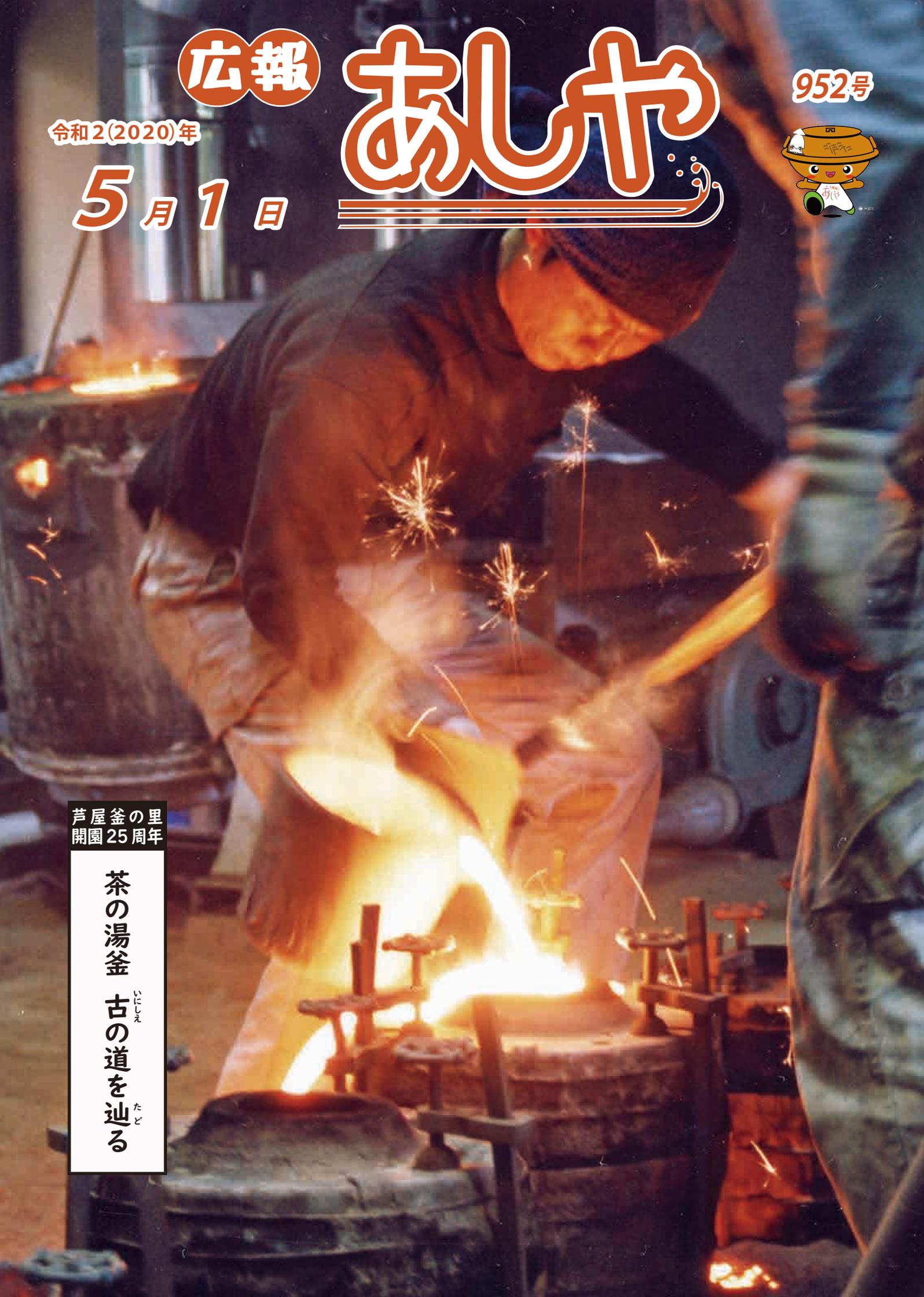
5月1日



芦屋釜の里
開園25周年

茶の湯釜

いにしえ
古の道を辿る
たど



家庭でできる感染予防

芦屋町新型コロナウイルス
感染症対策本部
芦屋町役場
健康・こども課 健康づくり係
☎ 2 2 3 - 3 5 3 3

大切な人を感染させないために

4月20日、国立感染症研究所は、「濃厚接触者」の定義に関して、感染者と接触した時期を「発症日以降」から「発症2日前以降」に変更しました。症状がなくても誰でも感染している可能性があると考えする必要があります。緊急事態宣言が発令され、人となるべく接触しない生活を送っていても、新型コロナウイルスに感染する可能性はゼロではありません。

さまざまな感染の予防とともに、症状がなくても自分が感染しているかもしれないと意識した行動も大切な人を感染させないことにつながります。

暮らしの中で注意すべきこと

家庭での掃除や洗濯、食事の方法

「新型コロナウイルス感染症市民向け感染予防ハンドブック（※1）」の一部を紹介します。
感染予防の参考にしてください。（※1）東北医科薬科大学などが作成

掃除

- テーブル、ドアノブ、トイレのレバー、照明スイッチ、リモコン、手すりなど手がよく触れるところを1日1～2回以上消毒をしてください。消毒用のアルコールが手に入りにくい場合は、家庭用の塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム（※2））でも作れます。
- 消毒液の作り方＝500mlのペットボトル1本分の水に対して、台所用漂白剤をペットボトルのキャップ1杯分（5ml）を入れて薄めてください。金属類は漂白剤でさびる可能性もあるので、消毒後に水拭きをしてください。
 - ① 作り置きをすると消毒効果が弱まり、また家族が誤飲するおそれがあるのでその都度作りましょう。
 - ② 危険なので、子どもの手が届くところには置かないようにしましょう。
- 軽症者や無症状の感染者が自宅で療養する（国の指針）場合、家庭内での感染リスクを抑えるためにはさらに注意が必要です。おう吐物や排せつ物を処理するときは漂白剤をキャップ2杯分にして濃度を高めた消毒液を使い、手袋をして使い捨てできるキッチンペーパーなどで拭き取り、ウイルスなどを拡散させないため、ビニール袋に入れ袋の口を縛ります。
- 発症した人の唾液や喀痰（かくたん）をめぐうのに使用したティッシュや看護に使用したものを捨てる時も同様に、手に触れないようにビニール袋に入れて口を縛ります。
- トイレを使用する場合は座って排せつし、使用後はウイルスが飛散しないようにふた（ふたがある場合）を閉めてから水を流しましょう。

洗濯

- タオルや布団、衣類は共用を避けます。下痢やおう吐物などがついて可能性がある場合は、80度以上の熱湯が入ったバケツに10分以上浸け、熱湯消毒をしてから通常の洗濯をしてください。

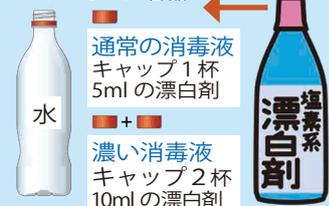
食事

- 食器を共用しないようにします。料理は大皿から各自が取るのではなく、あらかじめ小皿に分けた状態で提供しましょう。
- 使用後の食器は、食器用洗剤でよく洗い、気になる場合は熱湯や消毒液に10分以上浸した後に普通どおりよく洗います。

手がよく触れるところをこまめに消毒する



500mlのペットボトル容器



80度以上の熱湯に10分以上浸ける

